

「北海道苫小牧支援学校」 が開校します

☎総務企画課 ☎(32)6739

北海道苫小牧支援学校は「特別支援学校」です。

現在、胆振・日高地区には、障がいのある義務教育段階（小・中学生）の児童生徒が学ぶ特別支援学校として「室蘭養護学校」、「室蘭聾学校」、「平取養護学校」があります。今回、義務教育段階の児童生徒がより身近な場所で専門性の高い教育を受けることのできる機会を確保することを目的に、市内に新しく特別支援学校を設置することとなりました。

地域の中で育ち、地域と共に歩む学校に

私たちは、児童生徒たちが学校の中はもちろん、
地域の中でも「自分らしく」、「生き生き」と生活する姿を描いています。

苫小牧支援学校で学ぶ児童生徒たちは、知的障がいがあり、その障がいの特性から「話す、聞く、伝える」などのコミュニケーションが苦手です。身に付けた力を応用するためには、実際の生活と関連付けながら学習することが効果的です。例えば、算数で行った金銭の学習が家族と買い物に行ったときに発揮できるなど、学校で身に付けた力を地域で実践することで、学習した内容がより「確かな力」となります。

本校は、苫小牧市、安平町、白老町を校区としており、広範囲な地域から児童生徒は通学してきます。家庭、地域、学校がお互いに連携し、子どもたちを育てていくことが大きな成長につながると考えています。

地域との関わりの例

- 地域の施設やお店で行うお仕事体験、産業実習
- 公共交通機関の利用や地域の施設での体験学習
- 地域の方々を招いての授業参観、学校紹介
- 地域の皆さまや施設、近隣の学校との交流学習
- お店やイベントなどでの児童生徒の作品展示
- 地域清掃などのボランティア体験学習

地域の皆さまからも
アイデアがありましたら、
ぜひお聞かせください!

苫小牧支援学校での学び

★「行うことが分かって自分から活動に参加できるように」

児童生徒が活動の目的や内容を理解し、主体的に参加できる授業を行います

★「新しいことを知ることは楽しい、できると嬉しいと思ってもらえるように」

できたときの達成感を味わうことのできる授業を行い、またチャレンジしたいという気持ちを大切にします

★「児童生徒たちが役割を持ち、社会や人の役に立つ経験を大切にするために」

児童生徒の主体性を尊重し、学びたいという意欲を高め、自己有用感が持てる作業・体験学習を行います

★「高校生になることを楽しみに、将来の生活に大きな夢を持つように」

日常生活の指導の充実を図り、家庭と連携して確かな生活力を身に付けます

★「さまざまな方法で自分の気持ちを伝えることができるように」

日常の学習の中で、自己選択、自己決定の場面を多く設定します

★「地域の中で生き生きと生活する姿を想像して」

地域の中で学ぶ経験を大切にして、地域と共に育つ教育を行います

